

◎定例会『社会見学』迎賓館赤坂離宮・豊川稲荷東京別院 見学

6月12日(木) 晴れ 参加者20名(男性9名+ 女性11名+同伴者1名)

先週末の天気予報が雨天の可能性から当日は晴天の中、安心して計画を実施する事が出来ました。

迎賓館はかつての紀州徳川家の中屋敷でありましたが1909年(明治42年)ネオバロック様式の西洋宮殿として誕生されました、昭和天皇が摂政宮殿下(皇太子)であった時関東大震災(1923年(大正12年))でもほとんど被害を受ける事がなく天皇になるまで過ごされました。1974年(昭和49年)に迎賓館として生まれ変わり現在に至っております。国宝であり海外からの公賓が滞在される場所であることで詳細のレイアウトは秘密であり、見学は入場時に手荷物検査・X線を受ける事は当然ですが中ではメモを取る時



シャープペンシルは金属のカバーがある為禁止であることで鉛筆を借りてからメモを取りました、階段移動が不自由な障碍者手帳持参者はガードマンが秘密の扉を鍵で開け、国賓待遇のゲストと同じエレベータを使う事が出来た様です。本館では「花鳥の間」「大ホール」「小ホール」「彩鸞の間」「朝日の間」「羽衣の間」を見学しました。庭園は 国宝である噴水のある主庭と、来客が入場される前庭にはキッチンカーと4人テーブルがありゆったりとアフターヌーンティーを堪能する事が出来ます。

前庭見学の後正面玄関から移動

し、赤坂離宮前休憩所にある100名収容のテーブルで各自が昼食を頂きました。

食事後二番目の目的地である豊川稲荷東京別院への移動を地下鉄で行う予定でしたがスマホのマップを見た会員から徒歩移動しようとの提案があり、若くない全員が徒歩で移動致しました。



豊川稲荷東京別院は愛知県にある豊川稲荷の別院ですが初建立は1828年(文政11年)大岡越前守忠相が深く信仰し邸内に建立されましたが1888年(明治20年)現在地の赤坂見附付近に移転いたしました。また庶民の間でも商売繁盛、家内安全、福德開運の神として有名になりました。

境内には多くの神が祀られており、当別院には境内に七福神が祀られており一度にお参りする事が出来ます。

参拝後すべてのスケジュールが終了し246号線の道路を下り赤坂見附駅付近まで歩き解散致しました。



<6月定例会 報告:比与森 賢実>